

平成29年5月11日

都内私立中学高等学校
校 長
教 務 担 当 教 諭 殿
関 係 教 職 員

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会
会 長 近 藤 彰 郎
東京私学教育研究所長 須 藤 勉
教務運営研究会委員長 守 隨 憲 道
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

教務運営研究会「講演会」のご案内

アクティブ・ラーニングにおける評価 ～ルーブリックの活用～

初夏の候、先生方におかれましてはますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、次期学習指導要領では主体的・対話的で深い学びや探究的な学習が求められ、新たな評価方法の必要性が考えられています。大学入試改革では1点刻みの評価から別の形のものに変更しようとしています。そして、教育現場ではルーブリックやポートフォリオ評価等の理解と活用が以前よりもさらに大切になるものと思われまます。

そこで今回は、コアネット教育総合研究所所長の松原和之先生にルーブリックの活用についてのご講演をしていただきます。学校経営支援の分野でご活躍の松原先生のお話からは、各学校で新たな評価方法を構築するための示唆が得られることと存じます。これからの教育活動や学校運営に大変参考になるご講演ですので、お誘い合わせのうえ是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 平成29年6月27日(火) 18:00～20:00 (質疑応答を含む)
受付開始 17:30

2. 会 場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)会議室 千代田区九段北4-2-25 TEL 03(3261)9921 (代)
※ 裏面案内図をご参照ください。

3. 講 師 松原 和之 先生 コアネット教育総合研究所 所長

【プロフィール】

一橋大学社会学部で久富善之先生に師事し教育社会学を学ぶ。卒業後は、企業の経営企画部門、三和総合研究所のコンサルタントを経験し、2000年よりコアネット教育総合研究所主席研究員、2003年より同所長。数多くの学校改革支援プロジェクトを手掛け、先生方と一緒に学校を変革してきた実績を持つ。専門分野は、広報・生徒募集改革、教学(カリキュラム)改革を始めとする学校経営全般。「変革は現場から起きる」をモットーに、理論だけでなく、実践的なアドバイス、サポートを行い、現場の教員を巻き込みながら、必ず成果が出るまで支援することを信条にしている。国際大学グローバル・コミュニケーション・センター客員研究員兼任。

【主な著書・論文】

『アクティブ・ラーニングの実践とルーブリック評価』(「FORWARD37号」私学マネジメント協会、2016年)

『知識活用力を育てるアクティブ・ラーニング』(「FORWARD31号」私学マネジメント協会、2015年)

4. 内 容 新たな時代への対応としてアクティブ・ラーニングを導入する学校が増えているが、必ずしも成功しているとは言い難い。それは「何のためにアクティブ・ラーニングを導入するのか」という目的が明確でないからだ。つまり、身に付けるべき資質・能力を明確化し、それが本当に身に付いているかどうかを判断できる評価手法が求められる。そこで、今回はその有力な手法としてのルーブリックを紹介し、その有効性と実践方法について考える。

5. 定 員 約100名（申し込み順⇒定員になり次第締め切ります。）

6. 参加費 無 料（当協会会員各校の拠出金と(公財)東京都私学財団からの補助金で運営しております）

7. 申込方法 6月20日（火）までに下記宛に Web もしくは FAX にてお申込みください。

URL [http:// k.tokyoshigaku.com](http://k.tokyoshigaku.com)

東京私学教育研究所

検 索 

東京私学教育研究所 教務運営研究会 担当：渡辺・岡沢・菊地

TEL 03-3263-0544 FAX 03-3263-0560

《案内図》



■交通のご案内



地下鉄 有楽町線・南北線
市ヶ谷駅（1またはA1）出口



地下鉄 新宿線
市ヶ谷駅（A4またはA1）出口



JR中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅

上記改札・出口から徒歩約2分

切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

教務運営研究会「講演会」参加申込書〔6月27日（火）実施〕

学 校 名	氏 名 (ふりがな)	担当教科

上記の通り参加申し込みいたします。

東京私学教育研究所 御中

平成29年 月 日

校 長 _____ (印)

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。（本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です）
申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号：
-----	--------